

大河ドラマ誘致推進漫画作品「ぼくらの義仲物語」より

# まんがでわかる 木曾義仲

## 第4回 義仲起つ！

以仁王の令旨に  
拳兵を決意した義仲。京都への快進撃が始まります。

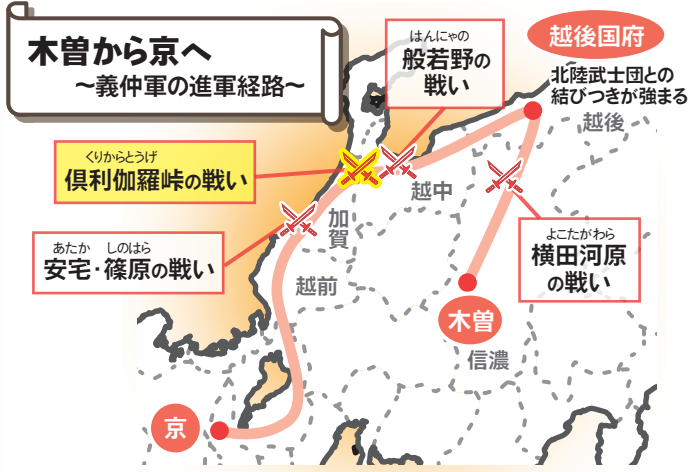


だいき  
あさひ  
こわー!!

あかり  
巴御前も強いんやって。義仲の前で見せた最後の戦いでは、敵の首を素手でねじ切ったとか!

だいき  
あさひ  
やっぱり仲間にも恵まれとたんじゃない? 乳母子の兼平や兼光と共に「四天王」と呼ばれた人たちもおったみたいよ。

あさひ  
それまで木曾の山の中で育ててきた無名の義仲が、旗揚げから勝ちまくって一番最初に平家のところにとどりに着くのかっけーな!



拳兵からたった3年で京へ! スターダムにのし上がるって すごいこと!?

### 源平の戦乱に彗星の如く現れた義仲の戦歴

1180年、平家と手を組んだ信濃(現在の長野県)の武士団との戦いに勝利したことをきっかけに、木曾義仲は信濃国全域の武士団を配下におさめ勢力を拡大します。活躍ぶりを聞き義仲のもとに駆け付けた義仲の父・源義賢に仕えていた家臣たちも加わり、義仲軍の勢いは増大。越後国(現在の新潟県)から攻め込んできた平家方の城氏の大軍を破り、北陸道へ進軍します。1183年には越中国(現在の富山県)、加賀国、越前国(現在の福井県)で連戦連勝を収めながら、7月にライバルであった源頼朝に先んじて平家がいる京に上洛。田舎武士と揶揄されながらも圧倒的な強さを見せつけたのでした。倶利伽羅峠の戦いは、この義仲の快進撃の中でも最も有名な戦いとして現在に名を残しています。



次回予告 だいき「ここまではずい活躍やけど、京に着いてからはつらい展開と結末が待ってれんよね…。」